

事務事業評価表

○基礎情報

| 課名 | | 教育施設課 | 作成責任者 |
|------|----|----------------|-------|
| 施策目標 | 11 | 安全で快適な教育環境をつくる | 高橋 修 |

| 常勤職員 | | 常勤職員以外 | | | 総従事者 |
|------|------|--------|----------|------|---------|
| 管理職 | 左記以外 | 再任用短時間 | 会計年度任用職員 | 派遣職員 | 総人工 |
| 3 人 | 12 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 15.00 人 |

| 時間外勤務時間 | |
|----------|----------|
| 総時間 | 一人あたり月平均 |
| 1,355 時間 | 9.4 時間 |

1 施策指標と実績(Do)

| 施策指標名 | 4次実施計画の 現状値 | 目標値 (R2年度) | 実績値 | | |
|------------|----------------|---------------|-------|-------|-------|
| | | | H30年度 | R元年度 | R2年度 |
| 大規模改修事業の進捗 | 40.0% | 65.0% | 45.0% | 45.0% | 45.0% |
| トイレ改修率 | 65.9% | 80.0% | 69.4% | 71.7% | 74.1% |
| 0 | 0.0% | 0 | | | |

(施策のねらい)

| | |
|---|---------|
| 1 | 教育施設の整備 |
| 2 | |
| 3 | 0 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績が

B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める

E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない

かつた(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

| 事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do) | | | | | | | | | | | Check | | Action | |
|------------------------------|-------------------|----|------|------|--------------------|--------------------|--|----------------|---------|---------|-------|------|--------|------|
| No. | 事務事業 (第4次実施計画) | 施策 | 従事者数 | 会計区分 | R元予算(円) R元決算(円) | R2予算(円) R2決算(円) | 何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれ (対象) (手段・方法) れた成果・効果) | 事務事業の指標 | R2目標値 | R2実績値 | 評価 | 取組時間 | 事務改善 | 休・廃止 |
| 1 | 小学校施設整備事業 | 1 | 1.48 | 一般繰越 | 0 | 135,052,000 | 施設の老朽化が進行しているため、各学校の状況に応じた工事を行った。 令和2年度は、改修工事として、浜須賀小学校(中棟)南側サッシ改修工事、緑が浜小学校プールろ過装置改修工事、小出小学校外1校放送設備改修工事、緑が浜小学校空調設備改修工事を実施した。各学校に対し運営上支障がないように修繕を施し、児童が安全・安心な空間で学校生活が送れるよう教育環境を整備した。 | 施設整備実施校(改修・空調) | 19校(改修) | 19校(改修) | S | | 変動なし | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------|---|------|----------|-------------|-------------|--|----------------|---------|---------|------|------|--|--|
| 2 | 中学校施設整備事業 | 1 | 0.49 | 一般 繰越 | 71,390,000 | 143,467,000 | 施設の老朽化が進行しているため、各学校の状況に応じた工事を行った。 令和2年度は、改修工事として、第一中学校（南棟）サッシ改修工事、予防保全工事として、第一中学校外1校防水改修工事、西浜中学校屋内運動場屋根改修工事を実施した。各学校に対し運営上支障がないように修繕を施し、生徒が安全・安心な空間で学校生活が送れるよう教育環境を整備した。 また、今後、文部科学省の整備方針が大規模改修から長寿命化改修へ移行されるため、委託事業として、浜須賀中学校長寿命化改修設計業務委託を実施した。 | 施設整備実施校（改修・空調） | 13校（改修） | 13校（改修） | S | 変動なし | | |
| 3 | 小学校大規模改修整備事業 | 1 | 0.00 | 一般 | 0 | 0 | 計画的な改修事業ではあるが令和2年度は未実施。 | 改修工事実施校数 | — | — | 実績なし | 変動なし | | |
| 4 | 中学校大規模改修整備事業 | 1 | 0.00 | 一般 | 0 | 0 | 計画的な改修事業ではあるが令和2年度は未実施。 | 改修工事実施校数 | — | — | 実績なし | 変動なし | | |
| 5 | 小学校トイレ改修整備事業 | 1 | 1.05 | 一般 | 134,274,000 | 158,466,000 | 築年数が20年以上経過した学校トイレの不具合解消に向け、明るく、快適なトイレ空間を作り、衛生面における環境の改善を図るため、計画的に改修工事を行っている。令和2年度は、柳島小学校北棟東側トイレ改修工事、今宿小学校校舎東側トイレ改修工事を実施した。 | トイレ改修系統数 | 2系統 | 2系統 | S | 変動なし | | |
| 6 | 小学校電気設備等改修事業 | 1 | 0.00 | 一般 | 0 | 0 | 対象施設受変電設備改修が令和元年度に完了したため、小学校施設整備事業へ統合した。 | 電気設備改修校数 | 18校 | — | 実績なし | — | | |
| 7 | 中学校電気設備等改修事業 | 1 | 0.00 | 一般 | 0 | 0 | 対象施設受変電設備改修が令和元年度に完了したため、中学校施設整備事業へ統合した。 | 電気設備改修校数 | 13校 | — | 実績なし | — | | |
| 8 | 小学校敷地底地整理事業 | 1 | 0.32 | 一般 | 0 | 0 | 土地の測量等は行っていないが、小学校敷地内の土地の権利関係の整理を行った。 | 底地整理実施校数 | 1校 | 0校 | Z | 変動なし | | |
| 9 | 中学校敷地底地整理事業 | 1 | 0.21 | 一般 | 0 | 0 | 土地の測量等は行っていないが、中学校敷地内の土地の権利関係の整理を行った。 | 底地整理実施校数 | 1校 | 0校 | Z | 変動なし | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------------------|---|------|---------|------------|-------------|--|---------|--------------|---------|---|------|--|--|
| 10 | 学校施設利活用検討事業 | 1 | 0.09 | 一般 | 0 | 0 | 少子化等により活用可能な学校施設について利活用した。令和2年度は、小和田小学校、鶴嶺小学校、鶴が台小学校で学童保育などに活用し、子育て環境などの改善に寄与した。 | 利活用校数 | 3校 | 3校 | S | 変動なし | | |
| | | | | | 0 | 0 | | | | | | | | |
| 11 | 中学校グラウンド(一校)拡張事業 | 1 | 0.03 | 一般 | 10,000,000 | 0 | 松浪中学校における将来的な学校施設の建替え等を見据えた中で、関係課との協議を実施し調査項目を精査して予算を確保した。南側隣接地の関係者と建て替えに係る情報共有を図った。 | 対応方針の策定 | 用地購入、建物保護の検討 | 関係者との協議 | A | 変動なし | | |
| | | | | | 8,140,000 | 0 | | | | | | | | |
| 合計 | | | | R2予算(円) | | 436,985,000 | | | | | | | | |
| | | | | R2決算(円) | | 390,679,300 | | | | | | | | |

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

| 人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action) | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 教育施設課の第4次実施計画の政策的事業数は、11事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、「S」4事業、「A」1事業、「Z」2事業、「実績なし」4事業となっている。事務事業番号6小学校電気設備等改修事業、7中学校電気設備等改修事業は令和元年5月に完了しているため、事業評価は実績なしとしている。指標の達成状況に着目すると、80%以上達成できた事業が4事業、事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった事業が1事業、未着手事業が2事業、実績なしであったものは4事業であり、概ね順調に事業が実施できたと考えている。令和2年度の施設整備事業においては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため市内小中学校が5月31日まで臨時休業していたが、6月1日に学校再開されたことを受け、年度当初、中止及び取り下げを予定していた、緑が浜小学校空調設備改修工事、柳島小学校北棟東側トイレ改修工事、今宿小学校校舎東側トイレ改修工事については製品の調達期間や工事期間を検討し、中止及び取り下げをせずに工事を実施した。また、浜須賀小学校(中棟)南側サッシ改修工事、第一中学校(南棟)サッシ改修工事は施工方法を工夫することで、夏季休業期間が短い中、学校運営に支障をきたすことなく工事を完了させた。施策指標である「トイレ改修率」が前年度と比較して改善されている。次年度以降も国の補助金を有効に活用しながら改修を進めたいと考えている。小中学校施設整備事業の予算額と決算額に大きな差が認められるが、繰越明許事業であるため前払い金を前年度に支払っている工事があることや入札による競争原理が働いたことが要因と考えられる。一方、職員の一人あたりの時間外勤務は、元年度は月平均7.9時間であったが、2年度は9.4時間と増加している。なお、業務分担の見直しや水曜日と給料支給日のNO残業デーの励行、マイライフデー、マイライフタイムの取得の励行などを実施し、引き続き時間外の縮減に努めたいと考えている。 | | | | | | | | | | | | | | |

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

| No. | 事務事業(事業がない場合は-) | 事務改善の内容 |
|-----|-----------------|---------|
| | - | - |

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

| No. | 事務事業(検討事業がない場合は-) | 休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載) |
|-----|-------------------|--|
| | - | 小中学校施設の老朽化などによる不具合で児童・生徒の教育に支障をきたさないこと、また、より快適で充実した教育環境となるよう学校環境衛生基準に基づく学習環境を目標に新旧の学校施設格差を低減する整備事業を進める必要があることから、根幹となる、大規模改修事業、トイレ改修事業、電気・機械設備の計画的な整備等を実施することが必要であるため、現時点では休・廃止する事業はない。 |